

2020 年 4 月 7 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

酸素濃縮器関連技術 特許総合力ランキング トップ 3 は帝人、PHILIPS、日本特殊陶業

弊社はこのほど、2020 年 3 月 19 日までに日本の特許庁で公開された「酸素濃縮器関連技術」について、特許分析ツール「Biz Cruncher」を用い、参入企業に関する調査結果をまとめ、レポートの販売を開始しました。

空気から高濃度の酸素を生成する酸素濃縮器は、慢性呼吸不全や慢性心不全に対する在宅酸素療法などに活用されています。今回の調査では、日本の特許庁で公開されている酸素濃縮器関連技術全般について、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」をベースに、特許の質と量から総合的に見た評価を行いました。

集計の結果、「総合力ランキング(※1)」では、1 位 帝人(帝人ファーマ含む)、2 位 ROYAL PHILIPS、3 位 日本特殊陶業となりました(表1、図 1)。

【ポリイミドフィルム関連技術 特許総合力トップ 5】

表1

順位	企業名	総合力 (権利者スコア)	有効特許件数	個別力 (最高スコア)
1	帝人(帝人ファーマ含む)	193.9	100	70.5
2	ROYAL PHILIPS	123.8	16	69.8
3	日本特殊陶業	116.8	43	76.2
4	医器研	54.3	36	61.1
5	フクダ電子	53.9	43	71.2

1 位帝人の注目度の高い特許には、「持ち運びが容易な携帯用の酸素濃縮システム」や、「コンプレッサの長寿命化と吸気騒音の低減を両立する酸素濃縮システム」などが挙げられます。

2 位 ROYAL PHILIPS は、「高純度の酸素の生成するための酸素濃縮システム」や、「エネルギー効率に優れた酸素分離機」などが注目度の高い特許として挙げられます。

3 位日本特殊陶業の注目度の高い特許には、「簡易な装置構成かつ低コストで必要な表示を行うことができる酸素濃縮器を」や、「吸着剤の寿命を向上できる酸素濃縮器」などが挙げられます。

4 位医器研は、「異常な高温環境にさらされた場合に、確実に検知して酸素の供給を停止する安全性に優れた酸素濃縮器」などが、5 位フクダ電子は「持ち運び可能で、振動の少ない酸素濃縮器」などが注目度の高い特許として挙げられます。

(注 1) 総合力の評価では、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を機関ごとに集計し、パテントスコアが 50 点以上のものを合算しています。50 点以上のものだけを集計している理由は、パテントスコアが低くても特許件数が多いことによって総合力が上がってしまうことを防ぐためです。

本分析の詳細については、特許・技術調査レポートの「酸素濃縮器関連技術」にてご覧いただけます。

【調査対象の特許群について】

1993 年から 2020 年 3 月 19 日までに発行された特許が対象。公開、登録、公表、再公表のすべてが対象で、登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

【価格】

内容	価格（税抜）	納期
特許・技術調査レポート	10万円	5営業日
個別企業分析 (レポート追加オプション)	1～5社まで (社数に問わらず同一価格)	+ 20万円 + 5営業日
	6社目以降、1社当たり	+ 4万円 + 1営業日

※個別企業分析の対象企業は、特許総合力上位企業または任意にご指定可能。

(注) レポートは弊社データベースにおける最新の収録範囲に基づき作成いたします。そのため、ご発注のタイミングによっては上記ランキングと順位、値が異なる可能性があります。

【納品形態】

冊子 1 冊。CD-ROM にレポートの PDF、分析に使った特許リスト CSV を収録。
レポートの収録内容およびサンプルは下記を参照。

<https://www.patentresult.co.jp/report/index.html>

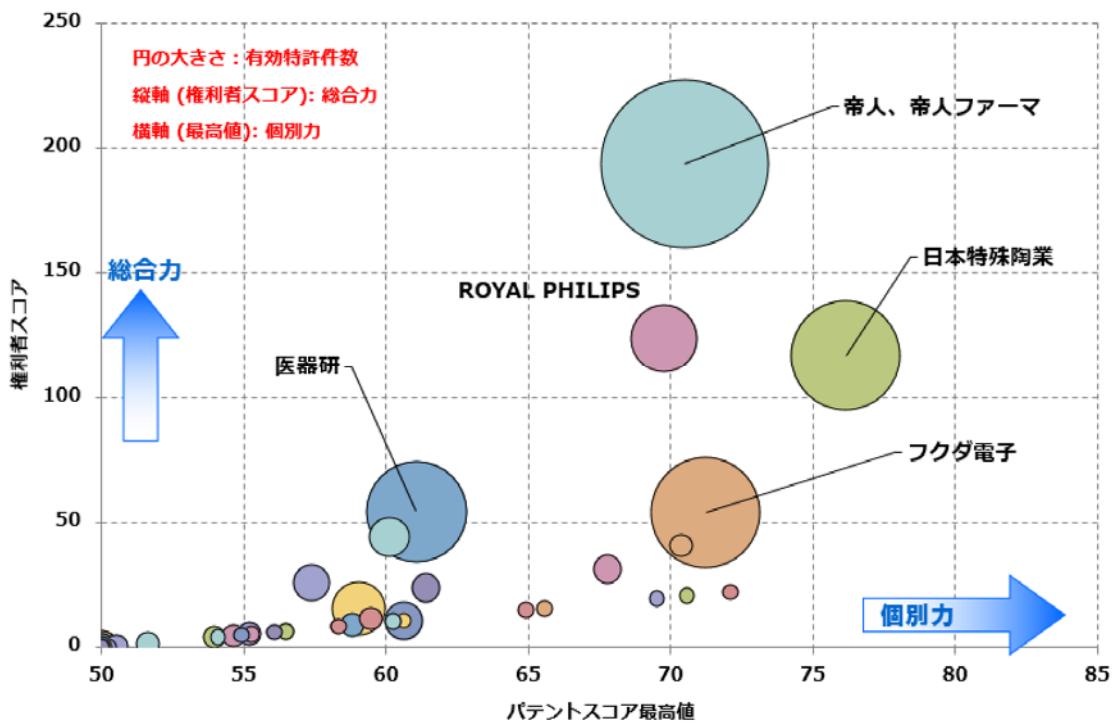


図1

<< 本件に関するお問い合わせ先 >>
株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ
Tel : 03-5802-6580、Fax : 03-5802-8271
ホームページ URL : <https://www.patentresult.co.jp/>